



2010年度 第3四半期決算

カンファレンスコール用資料

2011年2月8日

参天製薬株式会社



2010年度 第3四半期

連結累計期間 業績概要

執行役員 管理本部長

原田 哲



2010年度第3四半期連結累計期間 決算概況

(単位:億円)	2009年度 第3四半期 累計実績	2010年度 第3四半期 累計実績	対前年同期 増減率
売上高	863.0	821.0	▲ 4.9%
営業利益	257.0	221.0	▲ 14.0%
経常利益	258.1	228.2	▲ 11.6%
四半期 純利益	162.3	146.7	▲ 9.6%

S 売上高の増減要因(対前年同期比較)

2009年度
第3四半期
連結累計期間
実績売上高
863.0億円

▲41.9億円

2010年度
第3四半期
連結累計期間
実績売上高
821.0億円

国内: + 6.1億円

- + 医療用眼科薬 + 7.4億円
- + 抗リウマチ ▲ 1.4億円
- + 一般用医薬品 ▲ 4.2億円
- + 医療機器 + 3.8億円
- + その他 + 0.4億円

海外: ▲ 48.0億円

- + 北米 ▲ 54.9億円
(うち為替 ▲ 0.9億円)
- + 欧州 ▲ 1.8億円
(うち為替 ▲ 9.5億円)
- + アジア + 8.6億円
うち中国 + 7.2億円
(うち為替 ▲ 1.6億円)
うち韓国 + 1.5億円
(うち為替 + 0.0億円)

国内医療用眼科薬

- + 抗菌 ▲ 0.3億円
- + 角膜 ▲ 0.4億円
- + 緑内障 + 18.3億円
うちタプロス + 17.7億円
うちコソプト + 19.4億円
- + アレルギー ▲ 2.2億円
- + その他 ▲ 7.8億円

欧州

- + 医療用眼科薬 + 0.2億円
うち西欧 + 1.6億円
(うちドイツ + 1.3億円)
うち東欧 ▲ 0.5億円
うち北欧 + 0.9億円
うちロシア ▲ 1.8億円

<為替レート>	2009年度 3Q累計実績	2010年度 3Q累計実績
US\$	93.47円	86.72円
Euro	132.26円	114.50円
元	13.86円	13.15円

損益計算書の要約差異(対前年同期比較)

(単位: 億円)	2009年度 第3四半期 連結累計期間 実績	2010年度		
		第3四半期 連結累計期間 実績	増減	主な増減要因
売上高	863.0	821.0	▲41.9	
売上原価 (対売上高比率)	266.6 30.9%	261.9 31.9%	▲4.7 1.0pt	薬価改定の影響 品目構成の変化の影響 技術導出収入の影響
販売費・一般管理費 (対売上高比率)	339.2 39.3%	338.0 41.2%	▲1.2 1.9pt	
研究開発費を除く販管費 (対売上高比率)	233.5 27.1%	240.5 29.3%	6.9 2.2pt	国内事業 +2.5億円 海外事業 +2.7億円 その他(国内一般管理費等)+1.9億円
研究開発費 (対売上高比率)	105.7 12.3%	97.5 11.9%	▲8.1 ▲0.4pt	
営業利益 (対売上高比率)	257.0 29.8%	221.0 26.9%	▲36.0 ▲2.9pt	
営業外収益	7.7	8.4	0.6	
営業外費用	6.7	1.2	▲5.4	
経常利益	258.1	228.2	▲29.9	
特別利益	0.7	0.1	▲0.6	
特別損失	9.5	2.6	▲6.8	
税金等調整前四半期純利益	249.3	225.6	▲23.6	
法人税等	86.9	78.8	▲8.0	
四半期純利益	162.3	146.7	▲15.6	

<為替レート>	2009年度 3Q累計実績	2010年度 3Q累計実績
US\$	93.47円	86.72円
Euro	132.26円	114.50円
元	13.86円	13.15円



參考資料
2010年度第3四半期
連結業績概要



ライセンス契約に基づく 一時金収入を控除した実績比較

一時金収入を除く実績

(単位:億円)	2009年度 第3四半期 累計実績	2010年度 第3四半期 累計実績	対前年同期 増減率
一時金収入を除く 売上高	806.1	817.1	1.4%
売上原価 (対売上高比率)	266.6 33.1%	261.9 32.1%	▲1.8% ▲1.0pt
営業利益 (対売上高比率)	200.1 24.8%	217.1 26.6%	8.5% +1.7pt

セグメント別売上高

(単位:億円)	2010年度 第3四半期 連結累計期間 実績					
	国内		海外		合計	
	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率
医薬品事業	686.5	0.3 %	119.7	▲ 28.5 %	806.3	▲ 5.3 %
医療用医薬品	650.5	1.0 %	119.6	▲ 28.5 %	770.1	▲ 5.1 %
眼科薬	568.2	1.3 %	114.5	6.9 %	682.8	2.2 %
抗リウマチ薬	75.6	▲ 1.8 %	0.7	▲ 20.3 %	76.4	▲ 2.1 %
その他医薬品	6.5	7.9 %	4.3	▲ 92.7 %	10.9	▲ 83.3 %
一般用医薬品	36.0	▲ 10.6 %	0.0	▲ 58.5 %	36.1	▲ 10.8 %
その他	10.7	55.7 %	3.9	▲ 5.4 %	14.7	32.5 %
医療機器	10.6	57.4 %	3.9	▲ 5.4 %	14.6	33.3 %
その他	0.0	▲ 34.3 %	—	—	0.0	▲ 34.3 %
合計	697.3	0.9 %	123.7	▲ 28.0 %	821.0	▲ 4.9 %

(単位:億円)	2009年度 第3四半期 連結累計期間 実績	2010年度 第3四半期 連結累計期間		
		実績	増減額	対前年同期 増減率
欧州	64.1	62.3	▲ 1.8	▲ 2.8 %
北米	63.5	8.5	▲ 54.9	▲ 86.5 %
アジア	44.0	52.7	8.6	19.7 %
その他	0.0	0.0	0.0	80.7 %
合計	171.7	123.7	▲ 48.0	▲ 28.0 %



貸借対照表

(単位:億円)	2010年3月末		2010年12月末		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
流動資産	1,188.3	71.2%	1,189.8	71.6%	1.5
固定資産	480.4	28.8%	471.7	28.4%	▲8.6
繰延資産	-	-	-	-	-
資産合計	1,668.7	100.0%	1,661.6	100.0%	▲7.1
流動負債	252.8	15.2%	180.1	10.8%	▲72.6
固定負債	39.8	2.4%	41.4	2.5%	1.5
負債合計	292.7	17.5%	221.6	13.3%	▲71.1
純資産合計	1,376.0	82.5%	1,440.0	86.7%	64.0
負債純資産合計	1,668.7	100.0%	1,661.6	100.0%	▲7.1

【主要変動科目】

- ◆流動資産:現金及び預金 ▲38億円、受取手形・売掛金+29億円、有価証券+25億円、繰延税金資産▲9億円
- ◆固定資産:有形固定資産▲14億円、投資有価証券+7億円
- ◆流動負債:未払法人税等 ▲55億円、賞与引当金▲11億円
- ◆純資産:利益剰余金 +78億円、その他有価証券評価差額金 ▲5億円、為替換算調整勘定 ▲10億円

キャッシュフロー計算書 要約

(単位:億円)	2010年度 第3四半期 連結累計期間 実績
現金等期首残高	643.4
現金等 増減額	▲ 62.8
営業活動によるキャッシュ・フロー	94.5
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 81.1
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 71.5
現金等に係る換算差額	▲ 4.6
現金等期末残高	580.6

(注) 上記「現金等」には現金同等物を含んでいるため、貸借対照表の現金・預金とは一致しません



設備投資額/減価償却費/リース料

(単位:億円)	2009年度 第3四半期 連結累計期間 実績	2010年度 第3四半期 連結累計期間	
		実績	増減額
設備投資額	6.8	9.1	2.2
減価償却費	23.9	20.8	▲ 3.0
リース料	4.2	1.4	▲ 2.8



2010年度 通期連結業績予想

2010年度 連結予想概況

(単位:億円)	2009年度 通期実績	2010年度 通期予想	対前年 増減率
売上高	1,105.9	1,085.0	▲1.9%
営業利益	296.4	263.0	▲11.3%
経常利益	298.6	270.0	▲9.6%
当期純利益	187.2	175.0	▲6.5%
ROE	14.3%	12.3%	▲2.0pt



2010年度 連結業績予想

(単位:億円)	2009年度 実績	2010年度	
		予想	増減
売上高	1,105.9	1,085.0	▲20.9
売上原価	347.1	350.0	2.9
(対売上高比率)	31.4%	32.3 %	0.9 pt
販売費・一般管理費	462.4	472.0	9.6
(対売上高比率)	41.8%	43.5 %	1.7 pt
研究開発費を除く販管費	321.2	331.0	9.8
(対売上高比率)	29.0%	30.5 %	1.5 pt
研究開発費	141.2	141.0	▲0.2
(対売上高比率)	12.8%	13.0 %	0.2 pt
営業利益	296.4	263.0	▲33.4
(対売上高比率)	26.8%	24.2 %	▲2.6 pt
営業外損益	2.2	7.0	4.8
経常利益	298.6	270.0	▲28.6
特別損益	▲12.5	0.0	12.5
税引前当期純利益	286.1	270.0	▲16.1
法人税等	98.8	95.0	▲3.8
当期純利益	187.2	175.0	▲12.2
ROE	14.3%	12.3%	▲2.0pt



参考資料
国内医療用眼科薬市場概況

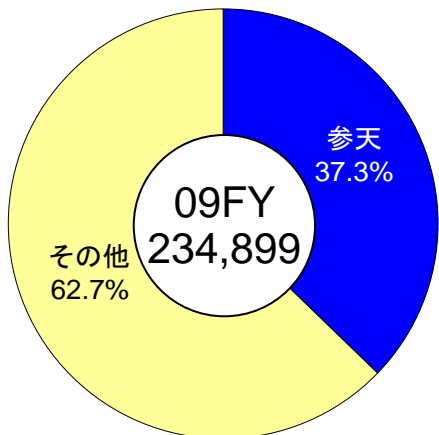


国内医療用眼科薬：市場概況(眼科計・緑内障・角膜)

- ・眼科計：10FY3Q累計の市場規模は対前年+2.4%。網膜領域急成長の中、参天はシェア36.8%確保
- ・緑内障：市場は対前年+2.0%と微増。参天はタプロスとコソプトが寄与し、シェア25.3%と伸長
- ・角膜：市場は対前年-0.9%と微減。参天の市場シェアは75.4%

市場規模: 百万円
%: 金額ベース

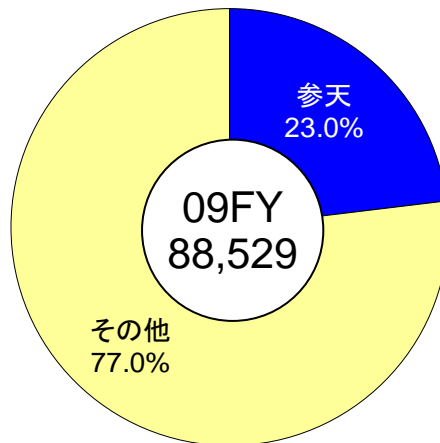
眼科薬計



09FY 10FY3Q累計

(金額) 前年比	市場	3.5%	+2.4%
	参天	1.7%	-1.0%
参天シェア		37.3%	36.8%

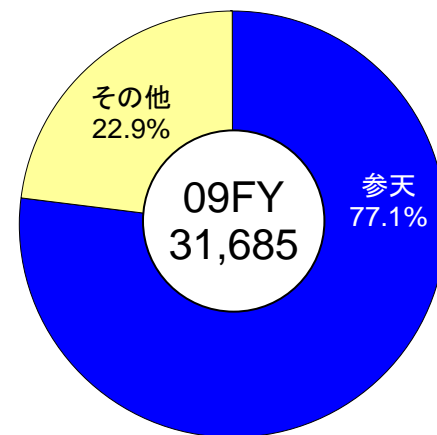
抗緑内障剤



09FY 10FY3Q累計

市場	4.1%	+2.0%
参天	18.4%	+12.8%
参天シェア	23.0%	25.3%

角膜疾患治療剤



09FY 10FY3Q累計

市場	3.9%	-0.9%
参天	3.0%	-3.4%
参天シェア	77.1%	75.4%

- 主な参天製品:
- ・抗緑内障剤: タプロス、チモプトール/XE、レスキュラ、デタントール、コソプト
 - ・角膜疾患治療剤: ヒアレイン、ジクアス

出典: ©2011 IMS Japan
IMS-JPM 2008-10を基に参天分析
無断転載禁止

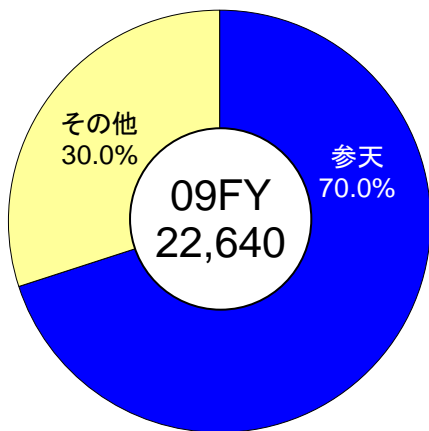


国内医療用眼科薬：市場概況(抗菌・アレルギー)

- ・抗菌：10FY3Q累計の市場規模は対前年-0.5%と微減
- ・抗アレルギー：参天は市場の成長ペースを下回っている。競合品の伸長傾向が続く

市場規模: 百万円
%: 金額ベース

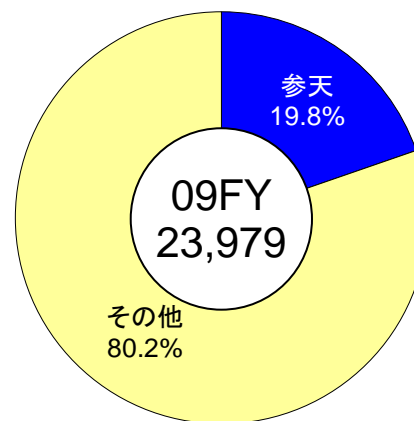
抗菌点眼剤



09FY 10FY3Q累計

(金額) 前年比	市場	-4.4%	-0.5%
	参天	-5.6%	-2.7%
参天シェア		70.0%	68.5%

抗アレルギー剤



09FY 10FY3Q累計

市場	-15.0%	-2.3%
参天	-19.7%	-16.3%
参天シェア	19.8%	18.6%

- 主な参天製品:
- ・抗菌点眼剤: クラビット、タリビッド
 - ・抗アレルギー剤: リボスチン、アレギサール



2010年度 第3四半期

新製品開発の現状

取締役 常務執行役員

研究開発本部長

西畑 利明



主要臨床プロジェクト状況一覧 (赤字部分: 10FY2Q発表時からの変更点)

グローバル品

日本(アジア)品

疾患領域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	
緑内障		DE-112 アデノシンA _{2A}		DE-111 タフルプロスト/チモロール マレイン酸塩配合剤 欧州(日本:準備中)	DE-085 タフルプロスト (発売) 日本・香港・韓国 欧州・ラテンアメリカ	
		DE-090 ロメリジン塩酸塩				中国
角膜疾患		DE-101 米国 リボグリタゾン 日本		DE-089 ジクアホソルナトリウム 中国 (発売) 日本		
		DE-105 ペプチド組合せ剤				
		DE-110 SEGRA				
網膜疾患		DE-109 シロリムス				
		DE-102 ステロイドDDS				
その他 眼感染症・リウマチ		DE-098 抗APO-1抗体			DE-108 レボフロキサシン(高濃度)	

S 主要臨床プロジェクトの現状

■DE-085 緑内障・高眼圧症

販売名：参天「タプロス」「TAFLOTAN」、米メルク社*「SAFLUTAN」

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/2発表時)	
日本	発売	発売	一般名： タフルプロスト 【発売開始】 日本：2008年12月 欧州：2008年6月 アジア：2010年3月 ラテンアメリカ：2010年8月 【導出】 米メルク社： 2009年4月
欧州**	発売25カ国／承認29カ国 米メルク社*に一部導出	発売23カ国／承認28カ国 米メルク社*に一部導出	
アジア	発売2カ国／承認4カ国 中国：承認申請中	発売2カ国／承認3カ国 中国：P3	
米国他	米メルク社*に導出 発売／承認4カ国	米メルク社*に導出 発売／承認4カ国(ラテンアメリカ)	

【発売国】世界合計:32カ国 (今回2カ国追加: 下線)

- ・参天：日本、アジア2カ国(香港、韓国)、欧州18カ国(ドイツ、フィンランド^他16カ国、ベラルーシ、ウクライナ)
- ・米メルク社*：欧州7カ国(イギリス、スペイン、オランダ、イタリア、ポルトガル、オーストリア、スイス)、ラテンアメリカ4カ国(バハマ^他)

【承認国】世界合計:38カ国 (今回2カ国追加: インドネシア、ベラルーシ)

*米メルク社への販売権導出(2009年4月)：許諾地域はドイツを除く西欧、北米、南米、アフリカ

**CIS諸国を含む

主要臨床プロジェクトの現状

■DE-089 ドライアイ 販売名：日本「ジクアス」

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/2発表時)	
日本	発売 (2010年12月)	製造販売承認 取得	一般名： ジクアホソルナトリウム
アジア	中国:P3	中国:P3	



主要臨床プロジェクトの現状 －緑内障・高眼圧症－

■DE-090

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/2発表時)	
日本	P2	P2	一般名： ロメリジン塩酸塩

■DE-111

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/2発表時)	
日本	P3準備中	P1 (PK試験*)	一般名： タフルプロスト／チモロール マレイン酸塩(配合剤)
欧州	P3	P3準備中	

*PK試験：薬物動態(Pharmacokinetics)試験。生体内に投与された薬物の体内動態を明らかにする試験

■DE-112

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/2発表時)	
米国	P1/2a	—	アデノシンA _{2A} 受容体作動薬

主要臨床プロジェクトの現状 – 角膜疾患 –

■ DE-101 角結膜上皮障害(ドライアイを含む)

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/2発表時)	
米国	P1/2*	P1/2*	一般名:リボグリタゾン
日本	P2b	P2b	

*高用量製剤を追加したパイロットP2b試験

■ DE-105 遷延性角膜上皮欠損

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/2発表時)	
米国	P2準備中	P2準備中	ペプチド組合せ剤
日本	P2	P2	

■ DE-110 角結膜上皮障害(ドライアイを含む)

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/2発表時)	
米国	P2	P2	選択的グルココルチコイド受容体作動薬(SEGRA)

■DE-102 糖尿病黄斑浮腫

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/2発表時)	
日本	P1/2	P1/2	ステロイドDDS

■DE-109* 滲出型加齢黄斑変性、糖尿病黄斑浮腫

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/2発表時)	
日本	P1/2	P1/2	一般名:シロリムス

*2010年6月、全世界でのシロリムス眼科用剤の開発・製造・販売権を取得。

主要臨床プロジェクトの現状 –その他–

■DE-108 外眼部感染症

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/2発表時)	
日本	製造販売承認 取得	製造販売承認 審査中	一般名: レボフロキサシン (1.5%)

■DE-098 関節リウマチ

地域	開発段階		備考
	今回	前回(11/2発表時)	
日本	P2	P1/2	抗APO-1抗体
欧州	P1/2終了	P1/2	



将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。